

社会資本総合整備計画書（第三回変更）

桑名地区都市再生整備計画（第三回変更）

平成 26 年 12 月 10 日

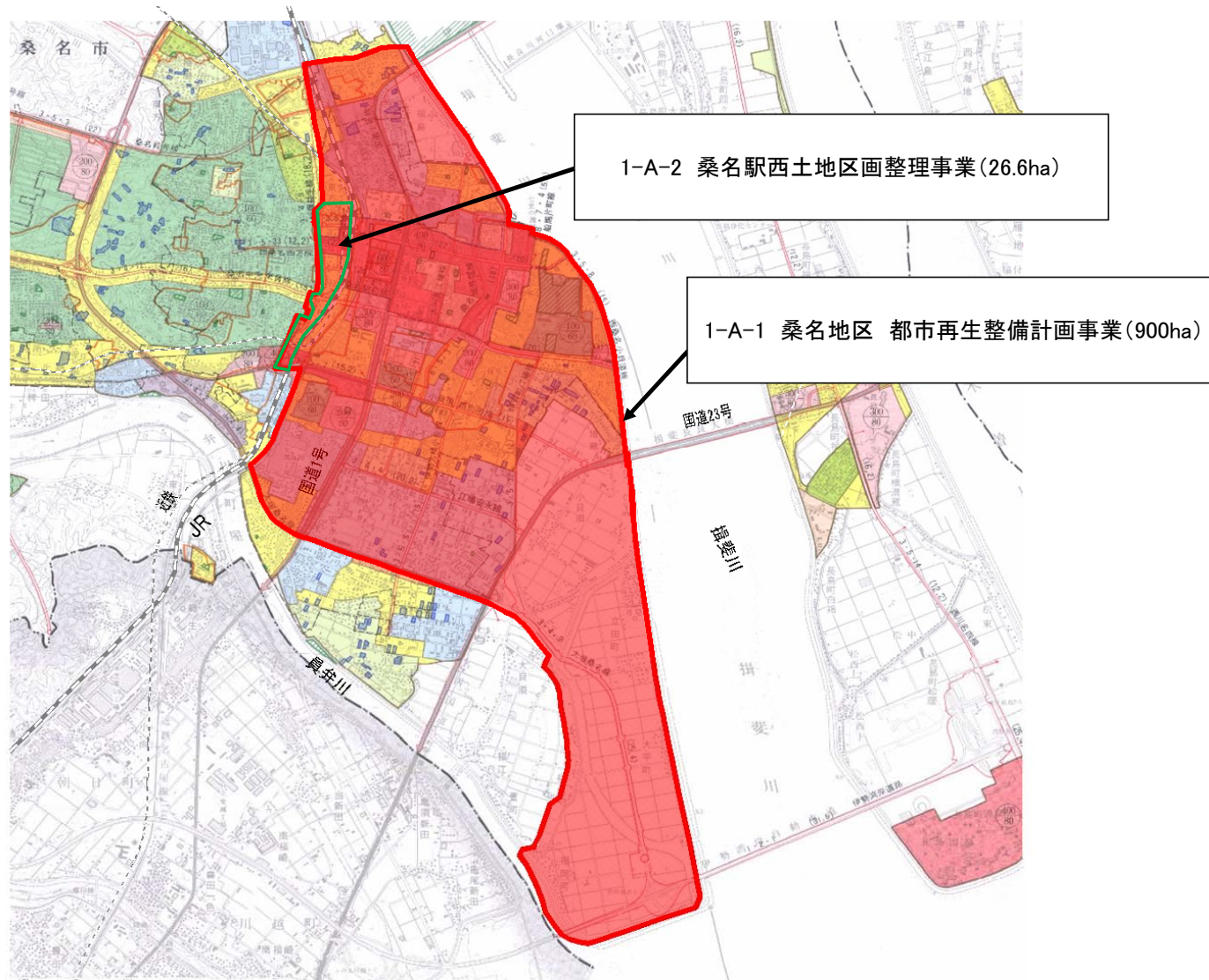
三重県桑名市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	1 桑名地区 都市再生整備計画																																						
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）				交付対象	桑名市																																	
計画の目標	<p>安全・安心を備えた快適な暮らしを育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地震災害時における火災対策と自主防災意識の向上を図る ■高潮・水害時における氾濫浸水区域の防災安全性の向上を図る ■災害時において迅速かつ確実な避難等を可能とする道路を確保する 																																						
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の自治会総数に対する自主防災組織を結成している自治会数の比率を58%から65%に（7%）増加 ・太平町集会所から避難所までの徒歩による所要時間を40分から9分に（31分）短縮 ・地区内における主用な施設から、災害対策本部である桑名市役所までのアクセス時間を10分から8分に（2分）短縮 ・市民アンケート調査による「自然災害に対する防災体制」に満足している市民の割合を58.3%から80.0%に（21.7%）増加 																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主防災組織の組織率により地域の自主防災意識の向上の度合いを評価する。（%）</td> <td>(H23当初) 58%</td> <td></td> <td>(H27末) 65%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>周囲を河川に囲まれた氾濫区域内にあり、洪水時の避難所が遠い集落（太平町）の避難時間の短縮効果により氾濫浸水区域の防災安全性を評価する。（分）</td> <td>(H23当初) 40分</td> <td></td> <td>(H27末) 9分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害対策本部となる市役所までの時間短縮効果により災害に強い道路の確保状況を評価する。（分）</td> <td>(H23当初) 10分</td> <td></td> <td>(H27末) 8分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全・安心を備えた災害に強いまちづくりに向けた様々な取り組み状況を市民目線で総合的に評価する。（%）</td> <td>(H24末) 58.30%</td> <td></td> <td>(H27末) 80.00%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値 (H25末)	最終目標値	自主防災組織の組織率により地域の自主防災意識の向上の度合いを評価する。（%）	(H23当初) 58%		(H27末) 65%		周囲を河川に囲まれた氾濫区域内にあり、洪水時の避難所が遠い集落（太平町）の避難時間の短縮効果により氾濫浸水区域の防災安全性を評価する。（分）	(H23当初) 40分		(H27末) 9分		災害対策本部となる市役所までの時間短縮効果により災害に強い道路の確保状況を評価する。（分）	(H23当初) 10分		(H27末) 8分		安全・安心を備えた災害に強いまちづくりに向けた様々な取り組み状況を市民目線で総合的に評価する。（%）	(H24末) 58.30%		(H27末) 80.00%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値	中間目標値 (H25末)	最終目標値																																				
自主防災組織の組織率により地域の自主防災意識の向上の度合いを評価する。（%）	(H23当初) 58%		(H27末) 65%																																				
周囲を河川に囲まれた氾濫区域内にあり、洪水時の避難所が遠い集落（太平町）の避難時間の短縮効果により氾濫浸水区域の防災安全性を評価する。（分）	(H23当初) 40分		(H27末) 9分																																				
災害対策本部となる市役所までの時間短縮効果により災害に強い道路の確保状況を評価する。（分）	(H23当初) 10分		(H27末) 8分																																				
安全・安心を備えた災害に強いまちづくりに向けた様々な取り組み状況を市民目線で総合的に評価する。（%）	(H24末) 58.30%		(H27末) 80.00%																																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	3355.0百万円	A	3355.0百万円 (内提案事業費195百万円)	B	0.0百万円	C	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.7%																													
交付対象事業																																							
A1 基幹事業																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H23	H24	H25	H26	H27																										
1-A-1	都市再生	一般	桑名市	直接	桑名市	桑名地区都市再生整備計画事業	街路 地域生活基盤施設 土地区画整理事業 等 約900 h a	桑名市						2,668.0																									
1-A-2	都再区画	一般	桑名市	直接	桑名市	桑名駅西土地区画整理事業	土地区画整理事業 A=26.6 h a	桑名市						687.0																									
合計											3,355.0																												
B 関連社会資本整備事業																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H23	H24	H25	H26	H27																										
合計																																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																												
1-B-1																																							
C 効果促進事業																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H22	H23	H24	H25	H26																										
合計																																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																												

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 桑名地区 都市再生整備計画	交付対象	桑名市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 桑名地区

事業主体名: 桑名市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○